

校長室だより No. 13 10月31日（水）  
インターンシップ（PBL方式）成果発表会



表題の「PBL方式」という言葉はもしかしたら耳新しい言葉かもしれません。PBLはProject Based Learningの略で「課題解決型学習」と訳されることが多いようです。

本校では昨年度からインターンシップを「より主体的なもの」にするため、この方式を導入しています。インターンシップ中に経験したこと感じたことをきっかけとして各事業所でヒアリングやモニタリングをさせていただき、インターンシップ終了後に授業のなかで、発見した課題について解決策を考え、最終的にインターンシップを行った事業所の方々を学校にお招きして成果発表を行います。

今回は16の事業所から20名の方に来ていただき、発表に関する講評をいただきました。生徒はプレゼンテーションソフトで作成した発表資料をもとに5分間で発表を行います。私も今回初めて参加しましたが、商業を学ぶ生徒らしく、提案した解決策の費用対効果を従業員の賃金から計算したり、ホームページの改善案を提案したりと現実的なものが多かったことが印象的でした。事業所のかたからも「すぐに検討してみたい」「従業員と共有したい」「逆に私のほうが勉強させていただいた」という言葉をいただき、生徒たちも自分たちの学習の成果に自信を深めたことと思います。

本校は「地域に貢献できる人材の育成」を目指した教育を行っていますが、このような「自分の主体的な関わり（提案）が地域の役に立つんだ」という経験の積み重ねが、将来必ず生きてくると考えています。単なるインターンシップとは違い、PBL方式のインターンシップは事業所の方々の理解がなければ成り立たない学習活動です。地域の人材育成のためと快く引き受けていただき、今回の発表会にも足を運んでいただいた方々には感謝の言葉しかありません。本当にありがとうございました。

今回発表した2年生は来年「課題研究」という授業で地域課題解決学習に取り組んでいきます。今回の学習をしっかりと振り返り、次のステップに生かして欲しいと願っています。

